



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <http://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 光晴 TEL 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,166	8.4	841	37.0	778	44.8	534	46.1
2018年3月期第3四半期	12,146	11.8	614	43.2	537	60.2	365	132.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 448百万円 (△7.9%) 2018年3月期第3四半期 486百万円 (79.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	95.73	94.88
2018年3月期第3四半期	65.51	65.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	19,565	7,967	40.1	1,404.81
2018年3月期	19,554	7,640	38.5	1,348.76

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 7,841百万円 2018年3月期 7,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△0.7	900	10.2	810	13.8	480	4.5	85.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	6,006,373株	2018年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	424,252株	2018年3月期	424,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	5,582,230株	2018年3月期3Q	5,582,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済状況は、企業収益の改善や設備投資の増加を背景に緩やかに回復いたしました。世界経済は、緩やかに回復しているものの、引き続き政治・経済・軍事情勢の変化を受けて不透明な状況が続いています。

物流業界におきましては、国内貨物は消費関連、生産関連を中心に堅調に推移いたしました。国際貨物は世界経済が拡大基調を維持する中、堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは、3カ年の中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の達成に向けて、ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、国内事業では、無線通信機器の取扱いが減少したものの、工作機械の取扱いが好調に推移したことに加え、前期に獲得した制御システム案件も引き続き好調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

海外事業におきましては、工作機械の取扱いが堅調に推移したもののスポット案件の減少により、売上高は増加したものの、営業利益は減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高131億66百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益8億41百万円（前年同期比37.0%増）、経常利益7億78百万円（前年同期比44.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億34百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

工作機械の取扱いが好調に推移したこと及び半導体製造装置の取扱いも増加したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高96億76百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益11億38百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱いが減少したものの、工作機械の取扱い及び制御システム案件の取扱いが増加したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高18億28百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益1億23百万円（前年同期比144.5%増）となりました。

③ 倉庫事業部門

前期計画遅れだった新規案件が当期に入り堅調に推移したこと及び半導体製造装置の取扱いも増加したことにより、売上高は増加いたしました。利益面に関しては、売上高は増加したものの自動ロボット制御ピッキングシステムの導入の先行費用の発生によりセグメント利益は減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高14億50百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益2億41百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が高水準で推移したことにより、売上高は概ね前年同期と同水準で推移しました。利益面に関しては、定期修繕費が前期より減少したことによりセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高2億11百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益84百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産195億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ、11百万円増加いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、60億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億22百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加67百万円、受取手形及び売掛金の増加1億86百万円、その他の増加41百万円によるものであります。

固定資産につきましては、135億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億11百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少2億44百万円、機械装置及び運搬具の増加5億35百万円、リース資産の減少1億72百万円、建設仮勘定の減少2億18百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少53百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少1億21百万円、繰延税金資産の減少82百万円、その他の増加41百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、115億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億14百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、43億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加3億19百万円、未払法人税等の減少2億50百万円、賞与引当金の減少2億12百万円、その他の減少39百万円によるものであります。

固定負債につきましては、72億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の増加72百万円、リース債務の減少2億5百万円によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、79億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億26百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加4億円、その他有価証券評価差額金の減少97百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.5%から40.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,658,393	1,726,073
受取手形及び売掛金	3,689,425	3,876,215
原材料及び貯蔵品	140,123	166,773
その他	218,703	260,275
貸倒引当金	△5,700	△5,700
流動資産合計	5,700,945	6,023,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,300,820	7,055,939
機械装置及び運搬具(純額)	73,936	609,624
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	1,872,821	1,699,975
建設仮勘定	226,639	8,131
その他(純額)	38,386	43,284
有形固定資産合計	11,816,058	11,720,410
無形固定資産		
ソフトウェア	75,278	22,008
その他	568	862
無形固定資産合計	75,846	22,871
投資その他の資産		
投資有価証券	606,663	484,885
破産更生債権等	7,707	7,317
繰延税金資産	758,106	675,586
その他	596,525	638,313
貸倒引当金	△7,707	△7,317
投資その他の資産合計	1,961,295	1,798,785
固定資産合計	13,853,201	13,542,067
資産合計	19,554,146	19,565,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	756,920	749,898
短期借入金	1,923,252	2,242,340
リース債務	268,841	272,631
未払法人税等	277,988	27,840
賞与引当金	385,541	173,134
その他	877,155	837,407
流動負債合計	4,489,698	4,303,252
固定負債		
長期借入金	4,159,620	4,231,850
リース債務	1,679,251	1,473,886
退職給付に係る負債	845,065	862,455
資産除去債務	423,913	430,792
長期預り金	207,987	210,957
金利スワップ	107,630	85,467
固定負債合計	7,423,468	7,295,410
負債合計	11,913,166	11,598,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,668,879	3,069,276
自己株式	△208,719	△208,823
株主資本合計	7,425,155	7,825,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,363	138,380
繰延ヘッジ損益	△74,673	△59,297
為替換算調整勘定	△3,940	△16,057
退職給付に係る調整累計額	△53,741	△46,662
その他の包括利益累計額合計	104,007	16,363
新株予約権	12,950	25,009
非支配株主持分	98,867	100,220
純資産合計	7,640,980	7,967,041
負債純資産合計	19,554,146	19,565,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	12,146,667	13,166,701
売上原価	9,830,710	10,547,033
売上総利益	2,315,956	2,619,668
販売費及び一般管理費		
販売費	835,424	823,885
一般管理費	865,900	953,887
販売費及び一般管理費合計	1,701,325	1,777,772
営業利益	614,630	841,896
営業外収益		
受取利息	210	994
受取配当金	9,108	12,520
受取保険金	6,153	5,657
その他	4,730	6,170
営業外収益合計	20,203	25,342
営業外費用		
支払利息	93,375	85,771
災害復旧費用	—	2,843
その他	3,609	64
営業外費用合計	96,984	88,678
経常利益	537,849	778,559
特別利益		
固定資産売却益	—	200
投資有価証券売却益	12	5,226
特別利益合計	12	5,426
税金等調整前四半期純利益	537,862	783,985
法人税、住民税及び事業税	132,450	149,247
法人税等調整額	40,999	100,529
法人税等合計	173,449	249,776
四半期純利益	364,412	534,209
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,316	△162
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,728	534,371

四半期連結包括利益計算書
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	364,412	534,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,127	△96,467
繰延ヘッジ損益	20,960	15,376
為替換算調整勘定	3,942	△12,116
退職給付に係る調整額	7,890	7,078
その他の包括利益合計	121,921	△86,128
四半期包括利益	486,334	448,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,369	446,726
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,034	1,353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,883,214	1,694,336	1,356,728	212,386	12,146,667	12,146,667
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,914	—	—	2,914	2,914
計	8,883,214	1,697,250	1,356,728	212,386	12,149,581	12,149,581
セグメント利益	918,211	50,671	250,885	80,876	1,300,644	1,300,644

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,300,644
セグメント間取引消去	310
全社費用（注）	△686,324
四半期連結損益計算書の営業利益	614,630

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,676,772	1,828,613	1,450,271	211,044	13,166,701	13,166,701
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,126	—	—	3,126	3,126
計	9,676,772	1,831,740	1,450,271	211,044	13,169,828	13,169,828
セグメント利益	1,138,971	123,884	241,641	84,281	1,588,779	1,588,779

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,588,779
セグメント間取引消去	246
全社費用 (注)	△747,129
四半期連結損益計算書の営業利益	841,896

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

子会社の増資

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、米国にある当社100%子会社であるSANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc. (以下「SLA社」という) への増資を行うことを決議し、2019年1月8日に第2回増資の払込みが完了いたしました。

なお、2018年11月7日の第1回増資の払込みにより、SLA社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、SLA社は当社の特定子会社に該当しております。

1. 増資の目的

今回の増資の目的は、SLA社が米国東海岸において梱包事業の本格的営業を円滑に遂行できるよう、財務基盤の強化を図るものであります。

2. 子会社の概要

(1) 商号	SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.
(2) 代表者	President 田中 光晴 (当社取締役専務執行役員)
(3) 本社所在地	米国カリフォルニア州
(4) 設立年月	2010年3月
(5) 増資前の資本金	800千米国ドル
(6) 決算期	3月末日
(7) 出資比率	株式会社サンリツ 100%

3. 増資の概要

(1) 増資額	5,000千米国ドル
(2) 増資後の資本金	5,800千米国ドル
(3) 払込日	2018年11月7日 3,000千米国ドル 2019年1月8日 2,000千米国ドル
(4) 増資後の出資比率	株式会社サンリツ 100%